



柏原中だより

令和3年度末特別号 狭山市立柏原中学校

〒350-1335 狭山市柏原2520-11 TEL04-2954-5073 生徒数 255名

<学校教育目標> 今を精いっぱい生きる・凡事徹底 ○希望を持って進む生徒

第40回卒業証書授与式・92名の卒業生柏中を巣立つ <3月15日(火)> ～卒業生、来賓2名、保護者各家庭1名、在校生代表17名、学校運営協議委員、教職員での式～

第40回卒業証書授与式が、3月15日(火)に本校体育館で挙行されました。今年度も昨年度と同じように、卒業生のほかに、在校生の代表17名が列席しました。そして各家庭から1名の保護者、来賓として、狭山市教育委員会 ○○○○教育長、○○○○本校PTA会長にもご臨席いただき、柏原地区学校運営協議委員9名の出席をいただいて、92名の3年生の卒業をお祝いすることができました。会場は、すべての窓を細く開けて換気をよくするとともに、座席は前後左右1.5m以上空けて感染予防をしました。また、式次第は、昨年度と同様に、「記念品贈呈」など、紹介のみで済ませられる次第は短縮したほか、「祝辞」については、紙面で印刷して卒業生に配付しました。本校PTAの○○○○会長からは、「幼かった卒業生が立派に成長したことを実感する。」とともに、「これまでの経験と得た知識を活かし、自分、家族、そして大切な仲間を守る強い人間になってほしい。」と、今後の卒業生の活躍を期待する言葉が贈られました。その後、卒業生を送る言葉として、在校生代表で生徒会長の○○○○さんからは、「最後まで諦めずに仲間と共に協力すれば、どんな困難な状況でも必ず輝ける。」と卒業生との一番の思い出を述べ、「先輩方のように挑戦する心を忘れずに、よりよい柏原中学校を作っていきます。」と、力強い決意で言葉を締めくくりました。これに対し、前生徒会長の○○○○さんが、別れの言葉として、「たくさんの人たちのお陰で、私たちは今日この日を迎えることができました。」という感謝を述べ、「この三年間の思い出は、言葉では表せないほどたくさんあります。」とこれまでを振り返りました。そして、「コロナ禍だからこそ、仲間との関りを大切に、一日一日を大切に、悔いのない中学校生活を送ってください。」と、在校生を励ます言葉で応えました。「校歌斉唱」と「卒業の歌」では、伴奏、指揮は、○○○○さん、○○○○さん、○○○○さんが壇上に上がり、マスク着用で大きな声での合唱はできませんでしたが、卒業の思いをかみしめながら、みんなで中学校生活最後の合唱をしました。午前10時30分から始まった式は約1時間、暖かい好天にも恵まれ、厳粛な中にも出席者全員の気持ちが通い合う、素晴らしい式になりました。

皆さま、式の実施方法等についてご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。



卒業証書授与



校長式辞



教育委員会告辞



送る言葉



別れの言葉



会場の卒業生・保護者



卒業の歌



3学年担当教員

おめでとう！ 柏原中生、活躍しています！（敬称略）

令和3年度 埼玉県読書感想文コンクール 令和3年11月16日(火)付

課題図書の一部 入選賞 2年 ○○ ○○

題名：『夢を追いかける』



※ 卒業式で述べられた、生徒代表の言葉を掲載します。

「卒業生を送る言葉」

教室の窓から差し込む日差しにも、春の気配を感じることができるようになりました。このような佳き日に、三年生の先輩がご卒業されること、在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

思い返せば二年前、私は不安いっぱいの中、柏原中学校に入学しました。右も左も分からない私たちを親切に先導していただき、優しい笑顔で出迎えてくれたことを、今でも鮮明に覚えています。コロナ禍で休校が続き、生活が制限される中でも、前向きな気持ちを忘れずに、その時にできることを考えて精一杯取り組んでいる先輩方の姿は、憧れの存在でした。体育祭では学年を越えて団を作り、一丸となって行えたことが、とても嬉しかったです。先輩方が全力で競技に取り組む姿はとても素敵で、団を越えて応援をする姿に、柏原中学校の伝統と、深い絆を感じることができました。校内音楽会では、とても難しい曲を、声を合わせて歌っている姿がとても印象的でした。また、クラス全員で、全力で創り上げている姿を見て感動しました。どの行事にも、全力で取り組む姿は、柏原中学校の良い伝統として、私たちが受け継いでいきます。部活動では、活動が停止になったり、制限されたりしましたが、できる範囲の活動の中で、十分な成果が上がるように考えていただきました。何も分からない私たちに、競技の基本や試合の心構えを丁寧に教えていただきました。時には優しく、また時には厳しく接してくださいました。学総大会のときは、それまで積み重ねてきた成果のすべてを出し切り、集大成として、最後まで諦めずにプレーする姿にとても感動しました。また先輩方には、部活動以外でも相談にのってくれたり、悩み事を聞いてくれたりして感謝しています。

先輩方との思い出は尽きませんが、その中で私が一番心に残っているのは、「最後まで諦めずに仲間と共に協力すれば、どんな困難な状況でも必ず輝ける」ということです。コロナ禍の中で、今までとは異なる生活様式が継続されています。社会の大きな変化を経験している先輩方は、これから物怖じすることなく、前を向いて進んで行かれることでしょうか。これからそれぞれ、新たな道を進んで行かれることと思います。時には険しい道や、くじけそうになることもあるかも知れませんが、そんな時は、柏原中学校での経験や、先生方、私たち後輩の笑顔を思い出してください。私たち在校生も、先輩方のように挑戦する心を忘れずに、よりよい柏原中学校を作っていきます。

結びになります。卒業生の皆さんの、それぞれの進路での活躍をお祈り申し上げ、在校生代表の祝辞とさせていただきます。

令和四年三月十五日

在校生代表 ○○ ○○

「別れの言葉」

麗かな春の光の中、私たち九十二名は九年間の義務教育を修了し、今日、柏原中学校を卒業します。

大きな希望と夢を胸に、中学校へ足を踏み入れた入学式。その日、私はここに立ち「新入生誓いの言葉」、を読み上げました。「とにかく充実した三年間にしよう」と誓ったのを今でも覚えています。あれから三年間、先生方や、先輩たち、そして後輩たちなど、たくさんの人たちのお陰で、私たちは今日この日を迎えることが出来ました。この三年間の思い出は言葉では表せないほどたくさんあります。

初めての事ばかりで毎日必死だった一年生。校外学習では、カレー作り大会をしました。班で分担を決め、みんなで協力し合いながら作ったのでとても美味しかったです。また、しっぽとりや、問題を解き進めていくレクなどもしてとても楽しい一日でした。

学年が上がり、初めて先輩となった二年生。部活動では、先輩方が引退し、自分たちがリーダーとなることの大変さを実感しました。また、宿泊学習では、初の班別行動をしました。準備の段階から問題ばかり起きていてとても大変でした。しかし、いざ当日行ってみると、秩父の山々の景色や、長瀨のライン下り、岩畳でのお弁当や機織りなどの体験学習と楽しい思い出ばかりです。また、夜には、キャンドルファイヤーをし、歌、ダンス、ヲタ芸など自分の好きなものや、得意な事を皆に披露しました。学年全体で盛り上がり、とても思い出に残る二日間でした。

そして、最高学年となった三年生。体育祭では、団の中心として後輩たちを引っ張っていくはずなのですが、コロナ禍の影響により中止になってしまいました。しかし、応援合戦とリレーだけはなんとか行うことができました。その応援合戦も三年生だけの発表でしたが、みんなで協力して準備した日々や、ダンスの練習をしたことはとても良い思い出です。

音楽会では、二年生のとき中止となっていたので、今年はできるか不安でした。それでも何とか実施することが出来たのですが、やはりコロナ禍であったのでマスクをつけ、距離をとっての練習でした。そのため、仲間の声がよく聞こえず、なかなか上手くいかないことが多かったのです。それでも、出来る範囲で、みんなで協力したたくさん練習のおかげで、当日は、今までで、一番良い合唱となりました。

そして、修学旅行。コロナ禍であったため、五月に行く予定が、十月に延期になりましたが、行くことが出来て本当によかったです。まず初めに、新幹線に乗ったのですが、私は新幹線が初めてだったので、スムーズ過ぎていつ発進したのか分からなかったのがとても衝撃的でした。その後、班別行動では、金沢城や東茶屋街など各班さまざまな場所を巡りました。私個人としては、妙立寺、通称忍者寺が一番面白かったです。その他にも、兼六園や、白川郷などさまざまな場所に行ったり、体験したりして、本当に楽しい三日間でした。

三年間を振り返ると、一年から二年の間には三か月も休校があり、その後も常にコロナ禍が隣にある学校生活でした。そのせいで部活動や、行事など十分にできなかったこともたくさんありました。しかし、私は楽しかったです。いつも仲間のみんながいたからです。それに、たくさんの人達の支えがあったからです。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

突然ですが、皆さんは、今どんな気持ちですか。あたりまえに過ごしていた教室。あたりまえに歩いていた通学路。そして、あたりまえに話していた友達、すべて今日で終わりです。明日からは一人一人がそれぞれ自分の道を進んでいきましょう。

九年間は長かったです。これからの人生の方がもっと長いのです。これまで以上に上手いいかないこともあるかも知れませんが、しかし、そんな時でも前を向いて、自分で選んだ道を、精一杯、歩んでいきましょう。

在校生の皆さん、コロナ禍の今は、今日も代表の人しか参加できませんでしたが、だからこそ仲間との関わりというものを大切にしたいです。時間は限られています。そしてあっという間に過ぎていきます。ぜひ、一日一日を大切に、悔いのない中学校生活を送ってください。

最後に、先生方や、先輩達、後輩たちや、同級生のみんな、そして、お父さん、お母さん、今までありがとう。

令和四年三月十五日

卒業生代表 ○○ ○○

※ 横書きですが、数字は漢数字で表記しています。